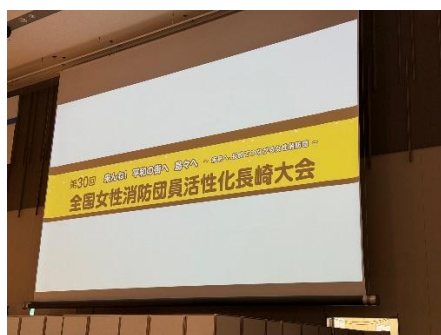


第30回全国女性消防団員活性化長崎大会

令和7年11月13日(木) 出島メッセ長崎

山形県から、山形市消防団・鶴岡市消防団女性消防隊・新庄市消防団が参加しました。



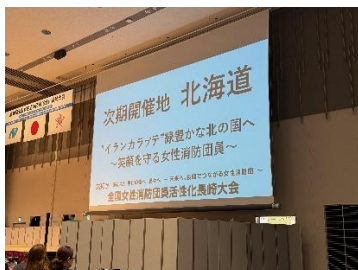
大会旗入場



パネルディスカッション



他県の活動展示コーナー



次回開催地 北海道の女性消防団員

次回大会のお知らせ

第31回

全国女性消防団員活性化 北海道大会

大会テーマ
『イランカラプテ』緑豊かな北の国へ
～笑顔を守る女性消防団員～

開催日 令和8年9月25日(金)

会場 札幌コンベンションセンター
北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

【お問い合わせ先】第31回全国女性消防団員活性化北海道大会実行委員会事務局
TEL : 011-232-5202 FAX : 011-232-5203

活動事例発表

五所川原市消防団 本団総務分団（青森県）

- 消防団員数 696名（うち女性消防団員数15名）
- 発表者 本団付副団長 齊藤 日出 他
- 発表内容 「命をつなぐ・・・おらほの消防団」

“おらほ（私達）の消防団”では、東日本大震災を期に防災意識を行動に変えました。救急車が到着するまで「命をつなぐ」行動として、消防署とタイアップし『緊急連絡カード』の推奨活動。男性団員への救命講習を実施。団員募集や非常時に備えて“ラジオ”での活動も取り入れました。若手の女性団員も増え、毎月の定例会には90%弱の参加率！18歳～65歳までの様々な意見が飛び交っています。今は少数精鋭ですが、更なる挑戦をします。



北上市消防団（岩手県）

- 消防団員数 883名（うち女性消防団員数29名）
- 発表者 北上さくら隊隊長 谷村 歩 他
- 発表内容 「交付車両を活用した消防団活性化計画
～それゆけ！北上さくら隊とクーちゃん号～」

2024年から機能別分団「北上さくら隊」として新たなスタートを切った私たちは、より市民の方の近くで、寄り添った活動ができる消防団員を目指しています。日本消防協会から交付された車両や活性化大会で学んだことを活かして活動を展開中。私も活性化大会で全国の皆さんから、多くの勇気と刺激をもらいここまで来ました。いただいたチカラを、次は皆さんへ、未来の消防団活動へつなげられたら嬉しいです。



広島県内の消防団（広島県）

- 消防団員数 18,899名（うち女性消防団員数583名）
- 発表者 広島市佐伯消防団分団長 城 妙子 他
- 発表内容 【シン・スキル×女性消防団員！】
地域防災力強化計画

2024年度、全国でも先進的な取り組みとして、県内の女性消防団員を対象とした「女性消防団員地域防災力強化研修」が広島県消防保安課主催のもと開催され、市町を越えて総勢28名が参加し、計4回の研修を行いました。この研修で学び得られたことについて発表するとともに、「うさぎ一家の防災グッズ選び」をご来場の皆さんと実際に行いますので、ぜひ、ご自身の地域防災力の向上に活用してみてください。



四国中央市消防団（愛媛県）

- 消防団員数 1,090名（うち女性消防団員数11名）
- 発表者 部長 久門 美紀子 他
- 発表内容 未来につなぐ消防団活動

子育て世代の団員が入団したことで、私たちの活動の幅がグリーンと広がりました。団員確保が難しい中、次の世代、そのまた次の世代に継承できるように子ども同伴で楽しく活動している様子を発信し、団員確保に努めています。時には子ども目線のアイデアを採用し、未来の消防団員となる育成にも力を入れています。

消防団という固いイメージを払拭し、市民の皆さんとのコミュニティを大切にしたい私たちの活動をお聞きください。



長崎市消防団（長崎県）

- 消防団員数 2,243名（うち女性消防団員数76名）
- 発表者 副分団長 田中 福貴子
部長 金山 千尋
- 発表内容 「今後の女性消防団の活動について」

長崎市消防団では、76名の女性消防団員が活躍しています。広域支援分団では防火広報や救急講習を通じて市民の安全意識向上に貢献し、基本分団では男性団員と共に災害対応や地域防災活動に従事しています。女性ならではの優しさと細やかな配慮で地域住民との信頼関係を築き、従来の消防団活動に新たな視点とアイデアをもたらしています。安全・安心な地域社会の実現に向けて、日々努力を続けていきます。



防火防災啓発劇

江別市消防団 女性分団（北海道）

- 消防団員数 183名（うち女性消防団員数21名）
- 発表者 副分団長 遊佐 満里子 他
- 発表内容 「幼児からの防災教育 ～おはしも～」

私たち北海道江別市の女性消防団員は、1991年に初めて10名採用されてから、24年が経過した2015年に、女性分団として分団化され今日に至っています。30年以上の活動を経て、地域防災力の向上について今回の発表テーマである、「幼少期の園児に対する防災教育」にたどり着きました。様々な効果が期待できると信じています。詳しくは発表でご紹介しますので、どうぞお気軽にご覧ください。



鹿児島市消防団 女性分団（鹿児島県）

- 消防団員数 1,451名（うち女性消防団員数50名）
- 発表者 副分団長 大山 佳子 他
- 発表内容 「ぼくはヒーローになる」

女性分団は、市内の幼稚園や保育園で「幼児防火教室」を実施しています。紙芝居と寸劇を組み合わせ、分団員がキャラクターになりきって演じる“体験型防火寸劇”は、火事の怖さや避難の仕方を幼児に楽しくわかりやすく伝える工夫が満載です。どの園でも「わかりやすく楽しい！」と大好評で、地域の未来を担う子どもたちを火災から守る、意義ある取り組みとして着実に成果を上げています。

